

| | |
|--------------------------|------------------------|
| 第6回『設計書をもとに俺の哲学を表現する!!!』 | 作成者：亀井 実施日：2019.2.6 |
|--------------------------|------------------------|

基本情報

| | |
|---|--|
| <p><u>対象者（生徒・クラスの現状予想。テーマへの関心など。）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の現状 前回までで「俺の哲学」を深掘り終わっていることが前提だが、俺の哲学が決定した生徒としていない生徒、そもそも俺の哲学とは何かはまだイマイチピンとこない生徒、一度決めたのに納得がまだいていない生徒などなど、様々な生徒の現状が予想される。 →各生徒の現状を前回の時点でほとんど把握しておくことが必要。その上で今回、どういった対応を各生徒に展開するかを考えておく。 →各クラスで詳しく分析。 ・クラスの雰囲気 各クラスで詳しく分析。 ・テーマへの関心 そもそも俺の哲学に興味がない生徒もいる。それをアウトプットしろと言われても...という生徒をどう引っ張り上げるか...。とはいえ基本的には楽しいと感じる生徒が多いのではないか。 →各クラスで詳しく分析。 <p><u>目的</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「俺の哲学」を何らかの成果物として残す ● 成果物を作る中で「俺の哲学」を再認識する | <p><u>目標（何をもって目的達成とみなすか）</u></p> <ol style="list-style-type: none"> ①「俺の哲学」を（前回までで）明文化できている ②3つのアウトプットフォーマットのどれかを完成できている ③そのアウトプットに「俺の哲学」を反映できている <p><u>準備物など</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PC ・ USB ・ 接続アダプタ <p>その他、大学生の制作例など。各クラスで詳しく検討。</p> <p><u>注意事項</u></p> <p>今回は前回の「俺の哲学」出しがきちんと行えていないと進めない内容になっているため、その点、各クラスで十分注意すること。</p> <p>▼目標に関して</p> <p>②...「完成」させること。次回それを発表することを十分意識させ、万が一宿題にする（次回まで2週間ある）場合は特に注意喚起すること。</p> <p>③...②が出来なければ次回発表できない。③を重視して、完成できていない生徒は宿題にするのか、或いは③よりも②を重視して、授業内で完成させてしまうか。当日の生徒の状況を確認しつつ、各クラスで検討すること。</p> <p>▼振り返りに関して</p> <p>各クラスで状況を判断して、有無を決定してください。</p> |
|---|--|

タイムライン (計45/50分)

| 構成 | 時間 | 活動内容 | 各活動のねらい | 生徒の反応予想と大学生の対応 | 備考 |
|----|----|---|--|--|--|
| 導入 | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> これまでの振り返り 少し間が空いたので、どんなことをやっていたか、今後の日程の確認等、適当に工夫する。 ▼例えば... これまでのワークシートを全部出す 大学生のこれまでの例を前に掲げる 周りと話してこれまでの成果を披露 | <ul style="list-style-type: none"> 会うのが3週間ぶりなので、今までやってきたことを振り返りつつ、アイスブレイク？も兼ねる | <ul style="list-style-type: none"> 前に集中しない生徒 →記録して、注意を向けさせる ずーっと話している →どう注意するかは各クラスのルールに任す <p>★前に集中しない生徒の惹きつけ方の研究 「空気感」のつくり方</p> | ◎本時のワークシートは、半分に折ってこれまでのワークシートを挟んで使う |
| 展開 | 8分 | <ul style="list-style-type: none"> これから何をするかの説明 小説家・画家・漫画家の説明と、大学生の例を共有 ⇒どれを選択するかまで決める (スライド1～16枚目) | <ul style="list-style-type: none"> 今回と次回で何をやるか理解 小説家・画家・漫画家のどれをやるかを決める | <ul style="list-style-type: none"> 今回何が出来ればいいかを理解する そもそも前回までの内容がクリアできていないので戸惑う(「主な作品」が埋められていない) ⇒ とりあえず説明は聞いてもらって、マークしておく。後で個別に対応 ⇒ どこから対応するべきか、「主な作品」をとばして制作に入ってもいいかどうか 言っていることが理解できない ⇒ 実際にワークシートを見せながら解説したり、生徒を当てて何にするかを決めさせる、など | 大学生の例を各クラス風アレンジするかは任す |
| | 5分 | <p>制作までのプロセス説明 自分がどこまでできているかを、前回のシートを見つつ確認 ⇒ 制作に入る (スライド17～22枚目)</p> <p>▼以下の点に注意。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワーク内容の理解 「俺の哲学」をきちんと踏まえる 次回発表 (⇒第7回授業案を参照) 複数可 & 完成度上げるもよし 楽しく、自由に! 次回発表、終わらなければ宿題 | <ul style="list-style-type: none"> 完成までのプロセスを理解し、所要時間や作業量の見通しを立てる | <ul style="list-style-type: none"> 騒ぐ ⇒ まずは説明を聞いて、どれくらいやるかがあるかを明確化させる。大学生が回って進捗状況を把握、どうやっていけばよいかをアドバイス | <ul style="list-style-type: none"> 大学生の備えがカギです。 次回の発表時間はどうしますか? iPad結局使うのアリですか? |

| | | | | | |
|-----|-----|--|--|---|---|
| | 25分 | <p>制作に入る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iPadの有効な使い方があれば ● 進捗が遅い生徒の対応を工夫する ➡ 進捗度別にグループ分け／2人に1人大学生のメンター制にする／生徒数が少なければ1対1もよし ● 進捗が速い ➡ 速い人同士で発表の練習／「俺の哲学」が踏まえているか確認／複数制作もアリ／制作物に色を塗る | 「俺の哲学」の表現 | <p>★目標は制作物の完成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iPadの使い方が分からない ➡ 大学生が個別でDigりながらサポート／あまりに人数が多い場合は、一回作業を止めて前で説明 ・ 「俺の哲学」が踏まえている分からない ➡ 「俺の哲学」のチェックリスト的なシートを作っておく／最後の「まとめ」の時間を長くにとって、全員で再度「俺の哲学」の確認（隣同士で確認でもよし） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 早く終わった生徒が暇になる <p>第7回の発表形式を事前に伝えられるといい</p> |
| まとめ | 2分 | <p>本時のまとめ、発表内容の確認</p> <p>★ワークシート回収</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習内容を確認する ・ 次回の授業内容を確認する ・ 次回の発表内容確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 制作したい生徒にはやらせておく ・ 出来ていない生徒にはワークシートを持ち帰らせて、完成させる | <p>シートを回収して、次時の最初に作らせるべきか？</p> |